

電力・ガス取引監視等委員会 「第4回検証委員会」

消費者からみた 委員会の活動・組織等について

2024年5月17日

(一財) 日本消費者協会理事

河野 康子



本日お伝えしたいこと

- ▶ 1. 電力・ガス取引監視等委員会と運営理念について
- ▶ 2. 委員会の情報開示について
- ▶ 3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について
 - ▶ ○電力市場への監視業務について
 - ▶ ○託送料金制度（レベニューキャップ制度）について
 - ▶ ○「新電力」など新規参入事業者の持続可能な事業運営について
 - ▶ ○不正事案への対応について
 - ▶ ○脱炭素社会等への対応
 - ▶ ○他機関との連携について
- ▶ 4. 今後に向けて
 - ▶ ○中期方針・機能強化方針（案）について

1. 電力・ガス取引監視等委員会と運営理念について①

3

- ・ **目的**⇒電力・ガス・熱供給の自由化に当たり、市場の監視機能等を強化し、市場における健全な競争を促す
- ・ **組織**⇒委員5名（法律、経済、金融又は工学の専門的な知識と経験を有し、その職務に関し、公正かつ中立な判断をすることができる者）
事務局（総務課、取引監視課及びネットワーク事業監視課）＋地方経済産業局取引監視室
- ・ **活動**⇒法律に基づき、事業者に対する報告徴収や立入検査、業務改善勧告、あっせん
・ 仲裁など委員会単独で行う権限と、託送料金の認可や小売事業者の登録等に際して審査を行い、経済産業大臣に対し意見を述べたり、取引ルールについて経済産業大臣に建議する権限を行使して、電力・ガス・熱の適正取引の監視や、電力・ガスのネットワーク部門の中立性確保のための行為規制等を厳正に実施 （電力・ガス取引監視等委員会HPより）

1. 電力・ガス取引監視等委員会と運営理念について ②

4

委員会が目指すエネルギーシステム（ミッション）

**すべての需要家に、低廉・安定・多様なエネルギーを
そのため、すべての事業者に、公平・多様な事業機会を**

市場メカニズムの適切な活用を通じ、需要者・供給者双方が、主体的かつ合理的に行動する結果として、
中長期的にも、経済性、安定性、環境適合性が図られる、効率的で強靱な電力・ガスシステムを築く
これらは、国民生活をより豊かにするとともに、エネルギー産業の競争力強化、国際化、健全かつ持続的な発展にもつながるもの

委員会が目指す組織の姿（ビジョン）

市場への信頼を守る

- 市場への信頼を損ねる行為を是正
- 適切に消費者の利益を保護
- 市場との対話、正確な情報

市場メカニズムを適切に活用する

- 将来あるべき電力・ガスシステムを見据え、市場とシステムが、全体として整合的に機能し、適切なメカニズムが働くよう、課題を明確化し、対応策を提言・実施

NWの適正性を確保する

- 地域独占であるNW部門の中立性、公平性、効率性を確保
- 新技術の出現も踏まえたNW性能やサービスレベルの向上

委員会が重視する価値観（バリュー）

独立性・専門性

独立した専門組織として設立された原点を重視

透明な運営

透明性を重視し、判断やその根拠データを積極発信

本質・未来志向

高い視座から全体構造や中長期のあるべき姿を見通し、課題を検討

データを重視

様々なデータを幅広く集積、客観的に分析し、小さな情報も見逃さない

実効ある行動

問題に対し、迅速に事実を解明し、ルールに則り毅然として対処

更なる高みへ

世界の動き・将来像も見据え、情報収集・発信し、更なる高みを目指す

（電力・ガス取引監視等委員会HPより）

2. 委員会の情報開示について

- ・小売電気事業の登録の取消しに関する意見聴取について意見を回答しました（2024年5月14日）
- ・小売電気事業を営もうとする者の登録に関する意見聴取について意見を回答しました（2024年5月14日）
- ・非化石価値取引市場（高度化法義務達成市場）の2023年度第3回オークションに係る監視結果について（2024年5月10日）
- ・ガスの特別な事後監視について（令和5年度第3四半期）の結果を公表しました（2024年5月10日）
- ・小売電気事業及び小売供給の登録に関する意見聴取について意見を回答しました（2024年4月26日）
- ・株式会社ハルエネに対する業務改善勧告などを行いました。（2024年4月26日）
- ・ . . .

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ①電力市場への監視業務

○「監視」の目的（「すべての需要家に低廉・安定・多様なエネルギーを！
すべての事業者に公平・多様な事業機会を！」）に照らして、現状の取組に課題はないか？

○多面にわたる精緻な監視活動において、現在の組織・機能等は十分であるか？

⇒取引監視システムの高度化（AIの活用、データ収集・分析機能強化）とそのための専門的人材の確保は早期に着手を

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ②託送料金制度（レベニューキャップ制度）

7

○電力供給における「送配電」について、直面している事実（a～c）と今後のエネルギー政策（送配電網強化や蓄電池への投資等）の課題が、事業者と需要家で情報共有できているか？

a.高度経済成長期に大量に導入された設備の更新が本格化する

b.東西で実質的に分断されているという弱点の克服

c.脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの拡大への対応

⇒現状（送配電会社はまず5年間ごとに事業計画を定め、必要な費用を算定する。国は審査の際には、各送配電会社のうち最も効率の良い会社の単価を基準にするなど金額を抑制する努力を求めたうえで、費用に見合う額として託送料の収入上限（レベニュー・キャップ）を承認する）という制度設計に対して、常に感度高くモニタリングし、改善や修正に消極的であってはならない

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ③「新電力」など新規参入事業者の持続可能な事業運営

○燃料調達価格が上昇し、利用者に電気を販売する「新電力」の契約停止、事業撤退が多発した事態で一般消費者が不安にさらされたケースなどへの、適時適切な情報提供は行われたか？

⇒事業者側へは、燃料の高騰時やひっ迫時はどうなるのか、安さと引き換えのリスクについても丁寧に説明する義務を課す

⇒消費者へは、安さの理由や企業の経営基盤を確認するなど、慎重な検討を行うとともに、価格だけでなく、その選択が社会に与える影響まで考えて電力会社や電気を選ぶことなどを推奨、周知する

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ④不正事案への対応

○カルテル事案や情報漏洩事案など、事業者のガバナンス・コンプライアンスに関わる事案への対応は適切だったか？

⇒関係諸機関が各々所掌する法律の範囲内で活動して不正の発生を防ぎ、事案発生後は情報共有できる体制を構築

⇒電力に関するさまざまな市場（卸電力取引市場、ベースロード電源市場、4年後の発電能力を扱う容量市場、短時間での需給調整能力を扱う需給調整市場、非化石電源で発電された電気の環境価値を扱う非化石価値取引市場、長期脱炭素電源市場や予備電源市場など）が目的通りに機能しているかどうか、相互の関係性などを監視し、調整することが優先

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ⑤脱炭素社会等への対応

○品質で差別化ができない電気、ガスという商品の選択において、需要家（主に一般消費者）が求める価値の見える化やそのためのルール作りは進んでいるか？

⇒国の国際公約である2050カーボンニュートラルへGX2040ビジョンで示されている多様な施策の推進、脱炭素推進のためのカーボンプライシング導入など、新たな視点を組み込んだ制度設計と料金審査へ転換が必要

⇒脱炭素で生み出される新たな価値について、事業者側、需要家側双方に誤認の生じないような表示の仕組みを構築する

3. 電力・ガス市場の番人としての「電取委」の活動について ⑥他機関との連携

○レベニューキャップ制度導入、規制料金値上げ審査等において、適時適切な情報発信を行ったか、不十分だとすればその要因は何か？

⇒資源エネルギー庁、公正取引委員会、消費者庁、消費者委員会、国民生活センターなど、電気・ガスの需給における一般消費者に係る各省庁や機関と情報交換、共有を進め、「電気・ガスの自由化」の目的や具体的な施策等の周知を一体的に進めることで、一般消費者や社会とのコミュニケーションを図る

4. 今後に向けて 「中期方針」・「機能強化方針」（案）について

- 検証で顕在化した各課題への対策として策定、提案された「中期方針」「機能強化方針（案）」を軸として、実現に向けて計画的に取り組んでほしい
- IT化推進やAIの活用によるデータ分析などは、市場や事業者側のデジタル環境整備が整わないと実効性に欠けるため、分野全体でレベルアップをめざしてほしい
- 市場の監視による健全な需給環境の維持において、初期想定を覆すような事象への対策が必要となった場合などで、課題への対応を個々に繰り返していくと、全体を見通したときに健全で最適な市場の維持構築に影響がでないように配慮が必要
- 新技術への挑戦、労働力確保や労働環境の整備、CNやサステナビリティへの貢献など、電力の需給に付随する多様な課題に対して、評価指標を検討してほしい
- 電取委の取組内容について周知・広報を進め認知度を高めることで、供給側の事業者並びに需要側の事業者や消費者にとって、電取委が頼りになり信頼に値する組織として広く認知されることが重要